

庄内川で水遊びを楽しむ子どもたち(昭和15年頃)



(出典)西枇杷島百年歴史紀行

庄内川は愛知県と岐阜県を流れ、名古屋港に流れ込む延長約96kmの河川であり、矢田川はその一つの支流です。

かつて庄内川は子どもたちが魚を捕まえたり、泳いだり、することができるきれいな川でしたが、現在は全国一級河川の中でワースト10に入るほど汚れた川になってしまいました。

私たちはきれいな川を取り戻すために様々な活動を行っています。

工場排水



川は企業のゴミ箱ですか？

鉱山からの濁水



生き物にも限度があります

土岐川

岐阜県

愛知県

庄内川

矢田川

いくつもある堰堤



魚道とは名ばかり

川を分断する堰堤



こんなところを魚がのぼれますか？

河口は名古屋港の藤前干潟



みんなで守りましょう

河口はゴミの山



私たちが捨てたゴミです

庄内川水系2020年の目標

- 目標1: 庄内川の魚や貝がおいしく食べられる水質とする。
- 目標2: アユ、ウナギ、サツキマスなどが海と川を自由に行き来できる。
- 目標3: 水系のすべてで子供たちが安心して遊び、泳ぐことができる。
- 目標4: 水系の水辺や川の中のゴミを今よりも明らかに少なくする。
- 目標5: 水とぴあの朝市を拡大し、道の駅として支援する。
- 目標6: 伊勢湾・三河湾の再生ネットワーク活動と連帯する。

主な活動

魚の生息環境改善

魚類の生息状況の調査や産卵場の造成を実施しています。また、魚の生息や移動を妨げる汚水や魚道の改善を企業や行政に提言しています。近年は「庄内川水系にアユ遡上 100 万匹大作戦」と題し、アユが遡上する環境を目指した活動を展開しています。

魚釣り大会

「食べられない魚釣り大会」「食べられるかも知れない魚釣り大会」「アユが泣いている魚釣り大会」「水質ワースト 1 返上！！魚釣り大会」など、副題を付けて毎年開催しています。平成 23 年には 55 年ぶりにアユ釣り大会を実施しました。

看板設置活動

昭和 50 年に「川の汚れは心の汚れ」と書いた看板の設置活動を開始し、100 本目の看板は当時の本山市長の手によって設置され、現在も看板を増設中です。

ビオトープづくり

環境学習を目的に流域 2 か所にビオトープを造成しました。また守山区志段味の貴重な湧水地である才井戸流の環境保全・整備活動を行い、ホタル観賞会を実施しています。

「矢田・庄内川をきれいにする会」会則（抜粋）

第 1 章 名称および目的

第 1 条（名称）この会は矢田・庄内川をきれいに する会（略称きれいにする会）とします。

第 2 条（目的）この会は、庄内川水系を汚すすべての汚染源に対し、きれいで快適な生活環境をとり戻し次世代に引きつぐとともに、農育活動をとおして食料問題に取り組み、次代の食の安定を目指すことを目的とします。

第 2 章 会員およびその役割

第 3 条（会員）この会は会の目的、会則、活動方針に賛同し、入会を希望する人を会員とします。ただし、17 歳までの人は準会員とします。

②毎年 1 万円以上の寄付を納める会員を賛助会員とします。

第 7 条（連携）この会は NPO 土岐川・庄内川サポートセンターと密接な連携のもとに事業を進めます。

活動への参加

会員には会報を郵送し、活動予定はメーリングリストなどを通じて連絡します。会員登録を希望する方は下記まで連絡ください。会費は無料です。

矢田・庄内川をきれいにする会 事務局

住所：名古屋市守山区川西 1-1304

TEL&FAX：052-794-3876

E-mail：ono-01@yutaka-zoen.co.jp

（代表：宮田照由，事務局長：小野天下）

団体ブログ：

<http://blog.canpan.info/kireinisurukai/>

矢田・庄内川をきれいにする会

庄内川は岐阜県と愛知県を流れる延長 96km の一級河川です。高度経済成長に伴い、上流の陶器産業に係る陶土の採掘鉱山から泥水が流され、加えて誘致された製紙会社の廃水により、臭いのする汚れ果てた川になってしまいました。当会はこのように水も大気も汚れるのが当たり前であった昭和 49 年に「庄内川水系を汚す全ての汚染源を排除し、きれいで快適な生活環境をとり戻し、次代へ引きつぐ」ことを目的とし、活動を開始しました。それ以来、数十年を経過し、水質はかなり改善されましたが、いまだに全国一級河川の中でワースト 10 を維持しています。当会はきれいな河川環境を取り戻すために様々な活動を続けています。

